

2019年4月3日

A4 モノクロ複合機/プリンターのラインアップを一新 ～省スペースながら、業務効率を大幅に向上～

株式会社リコー(社長執行役員:山下良則)は、A4 モノクロ複合機/プリンターの新製品として「RICOH IP 500SF」「RICOH P 501/501M」「RICOH P 500/500M」の合計3機種5モデルを発売します。

A4 モノクロ複合機「RICOH IP 500SF」はコピー、プリンター、ファクス、カラーレスキャナー機能を搭載した1台4役の複合機です。従来機*1と比べ、出力速度を片面43枚/分(A4 タテ送り)、ファーストプリントを4.8秒に向上しました。リコーのモノクロ A4 複合機として初めて10.1インチの大型フルカラータッチパネル「MultiLink-Panel」を搭載することで、コンパクトな筐体はそのままに A3 複合機と同等の操作性を実現しました。さらに書類のステープルを外してコピーやスキャンした後、再度ステープルすることができるリコー初のオフラインステープラー(オプション)を装着することで作業の利便性を向上しました。

A4 モノクロプリンター「RICOH P 501/501M*2」は、従来機*3と比べ、出力速度を片面43枚/分(A4 タテ送り)、ファーストプリントを4.3秒に向上しました。「RICOH P 500/500M*2」は従来機*4と比べ、出力速度を片面35枚/分(A4 タテ送り)、ファーストプリントを4.9秒に向上しました。リコーの A4 モノクロプリンターとして初めて M-PaC 保守を採用した2モデルを追加したことで、印刷枚数管理や部品交換、交換部品の購入といった機器管理者の付帯業務を低減します。

また PC から USB 接続したプリンターも監視することができる機器管理ツール*5に対応したことで、USB 接続プリンターとネットワークプリンターの一括監視が可能となりシステム管理者の負荷を軽減します。

*1 従来機の「SP 4510SF」(2015年8月発売)は、片面40枚/分(A4 タテ送り)、ファーストプリント5.0秒

*2 RICOH P 501M/500M は M-PaC 専用モデルです

*3 従来機の「RICOH SP 4510」(2015年8月発売)は、片面40枚/分(A4 タテ送り)、ファーストプリント5.0秒

*4 従来機の「RICOH SP 4500」(2015年8月発売)は片面30枚/分(A4 タテ送り)、ファーストプリント6.5秒

*5 機器管理ツール「Ridoc IO Device Manager Accounting」(有償)が必要です。

製品名	RICOH IP 500SF	RICOH P 501/501M	RICOH P 500/500M
機能	コピー/プリンター/ファクス /カールスキャナー	プリンター	
連続プリント速度*1	43枚/分	43枚/分	35枚/分
ファーストプリント速度	4.8秒以下	4.3秒以下	4.9秒以下
標準トレイ給紙枚数	550枚	550枚	
操作パネル	10.1インチWSVGAフルカラー タッチパネル	4行LCDパネル	
保守形態	年間保守サービス	P 501/500: 年間保守サービス P 501M/500M: M-PaC保守*2	
標準価格(消費税別)	オープン価格	75,800円	64,800円
発売日	2019年4月10日*3		

*1 A4 タテ送り時。

*2 M-PaC 保守は、複合機のようにトナー・定期交換部品・保守サービスの料金を合算し、1 カウントあたりの料金を申し受けるプリンターの保守サービスです。

*3 RICOH P501M/500M の発売日は、4 月 15 日になります。



RICOH IP 500SF



RICOH P 501/501M



RICOH P 500/500M

<新製品 モノクロ複合機 RICOH IP 500SF の主な特徴>

1. 高生産性を実現

- ・ 連続コピー・プリント速度は片面43枚/分(A4タテ送り)、スキャナー読み取り速度は40ページ/分と高速を実現しました。
- ・ リコーとして初めてオフラインステープラー(オプション)に対応。書類のステープルを外してコピーやスキャンした後に、再度ステープルすることが可能です。また、印刷後その場ですぐにステープルをして書類を完成することで業務効率を向上いたします。
- ・ RICOH IP 500SFは、両面原稿を反転させることなく1度の搬送で両面の同時読み取りが可能な1パス両面原稿送り装置を標準搭載。両面原稿のコピーやスキャン時に読み取り時間を大幅に短縮が可能です。

2. 使いやすさを追求し、優れた操作性を実現

- ・ 10.1インチの大型フルカラータッチパネル「MultiLink-Panel」を搭載し、タブレット端末やスマートフォンのように、指先でのフリックやピンチイン・ピンチアウト、ドラッグなどの直感的な操作を実現しました。さらに、消耗品の交換手順を操作画面上に動画で表示をすることで、お客様の作業時間低減をサポートします。
- ・ フロントオペレーション設計により、パネルの操作はもちろん、用紙補給、トナー交換、万一の紙詰まり処理などを前面から行うことが可能です。

3. お客様の業務をサポートする幅広い用紙対応力

- ・ オプションの増設トレイの装着により、最大2,310枚の大量給紙が可能。頻繁な用紙補給の手間を省き、大量出力もスピーディに行うことができます。
 - ・ 用紙厚はすべてのトレイで52～220g/m²*1まで対応。また、手差しトレイからは幅60×長さ148mmの小サイズから幅216×長さ900mmの長尺サイズまで対応し、お客様の業務を強力にサポートします。
- *1 手差しトレイは52～256g/m²までの用紙厚に対応

4. 徹底した省エネ設計により、優れた環境性能を実現

- ・ 消費電力の効率利用を迫及したことで、標準消費電力量(TEC)*2を1.8kWhまで低減しています。
- *2 国際エネルギースタープログラムで定められた測定法による数値。

5. コンパクトボディに多彩な機能を搭載

- ・ 本体サイズは幅476×奥行442×高さ510mmとデスクサイドにも設置が可能なコンパクトボディに、コピー、プリンター、ファクス、カラーズキャナーの多彩な機能を1台に集約。設置スペースに限りがある病院の受付や店舗の窓口・バックヤードなど限られたスペースに設置が可能です。
- ・ RICOH IP 500SFと様々なクラウドサービスを繋ぎ、紙からデジタルデータに変換・加工するアプリケーションサービスの提供を強化。RICOH Smart Integrationアプリケーションとして提供するクラウドストレージ連携サービスやWebアドレス帳との連携サービス、AI機能を搭載したOCRサービスによりワークフロー改善に貢献します。

<新製品 モノクロプリンター RICOH P 501/501M/500/500M の主な特徴>

1. 高生産性と高耐久性を実現

- ・ 連続プリント速度は片面43枚/分(A4タテ送り)*¹、両面37ページ/分(A4タテ送り)*¹の高速を実現。また、1ページの帳票などを出力する業務には欠かせないファーストプリントも4.3秒以下*¹と従来機より大幅な高速化を実現しました。さらに、耐久性は60万ページで安定した出力環境を提供します。

*¹ RICOH P 501/501Mの場合。RICOH P 500/500Mは片面35枚/分(A4タテ送り)、両面30.5ページ/分(A4タテ送り)、ファーストプリント4.9秒以下

2. 機器管理の負荷を経験

- ・ リコーのA4モノクロプリンターとして初めてM-PaC保守を採用したモデルを提供することで、印刷枚数管理や、部品交換、交換部品の購入といった機器管理者の付帯業務を低減します。
- ・ USBで接続したプリンターの機器管理ツール*²による監視を実現したことで、USB接続プリンター・ネットワークプリンターの一括監視が可能となりシステム管理者の負荷を軽減します。

*² 機器管理ツール「Ridoc IO Device Manager Accounting」(有償)が必要です。

3. 設置場所を選ばないコンパクト設計

- ・ RICOH P 501/501M/500/500Mは幅375×奥行412×高さ311mm*³とコンパクトボディを実現。デスク下や受付カウンターの中・背後、オフィスの棚の上など様々な場所に設置が可能です。

*³ 操作部除く。

4. お客様の業務をサポートする幅広い用紙対応力

- ・ オプションの増設トレイの装着により、最大2,310枚の大量給紙が可能。頻繁な用紙補給の手間を省き、大量出力もスピーディに行うことができます。
- ・ 用紙厚はすべてのトレイで52~220g/m²*⁴まで対応。また、手差しトレイからは幅60×長さ148mmの小サイズから幅216×長さ900mmの長尺サイズまで対応し、お客様の業務を強気にサポートします。

*⁴ 手差しトレイは52~256g/m²までの用紙厚に対応

5. 使いやすさを追求し、優れた操作性を実現

- ・ フロントオペレーション設計により、パネルの操作はもちろん、用紙補給、トナー交換、万一の紙詰まり処理などを前面から行うことが可能です。
- ・ 操作部には漢字やイラストで多彩な情報を表示できる4行LCDパネルを新たに搭載し、快適な操作環境を提供いたします。

6. 徹底した省エネ設計により、優れた環境性能を実現

- ・ 消費電力の効率利用を迫及したことで、標準消費電力量(TEC)*⁵を1.65kWh*⁶まで低減しています。

*⁵ 国際エネルギースタープログラムで定められた測定法による数値。

*⁶ RICOH P 501/501Mの場合。RICOH P 500/500Mは1.32kWhとなります。

※会社名および製品名は、それぞれ各社の商号、商標または登録商標です。

｜ リコーグループについて ｜

リコーグループは、オフィス向け画像機器を中心とした製品とサービス・ソリューション、プロダクションプリンティング、産業用製品、デジタルカメラなどを世界約200の国と地域で提供しています(2018年3月期リコーグループ連結売上は2兆633億円)。

創業以来80年以上にわたり、高い技術力、際立った顧客サービスの提供と、持続可能な社会の実現にむけて積極的な取り組みを行っています。

[EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES](#) - 人々の“はたらく“をよりスマートに。リコーグループは、さまざまなワークプレイスの変革をテクノロジーとサービスのイノベーションでお客様とともに実現します。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。 <http://jp.ricoh.com/>